



FUKUOKA
PREFECTURAL
POLICE 2021



やりがい無限大

個性が生きるシステム開発

Profile

警務部 警務課 企画調整係

平成14年採用警察行政職員(情報処理)

大阪産業大学 工学部情報システム工学科 卒業

やりがい

情報処理の知識・技術は、インフラ整備やシステム開発などの専門分野だけでなく、警察行政のありとあらゆる場面で活かしています。

自分の知識・技術をいかに今の業務に活かしていくのかを見つけることにやりがいを感じます。まさに、「#やりがい無限大」です。



きっかけ

警察官であった父が、「職場の業務システムの使い方が難しい、もっと分かりやすければいいのに…」と言っており、「父のようなパソコンが苦手な警察官でも使いやすいシステムを自分の手で作りたい!!」と思い、警察行政職員（情報処理）の採用選考試験を受験しました。

印象に残ったエピソード

平成25年に運用を開始した「勤務管理システム」は、福岡県警察で自主開発した大規模勤務管理システムで、私も開発メンバーとして参加しました。

通常、この手のシステムは外部発注することが一般的ですが、一から自分たちの手で開発した結果、ユーザーの立場に立った分かりやすい画面、担当者の意見を反映した痒いところに手が届く便利な機能など、たくさんのこだわりとアイデアを盛り込むことができました。

このシステムは、警察庁が主催する開発・改善コンクールにおいて、最優秀賞である警察庁長官賞を受賞し、今でも他県警察から視察が来ています。



職場環境

現在、私は警務部警務課企画調整係の課長補佐として、業務の合理化・効率化に向けたシステム開発の指揮・管理を行っています。

企画調整係は、経験豊富な人から新任配置の人まで、スキル、経歴、個性も様々ですが、皆システム開発に情熱を持った者ばかりで、和気あいあいとした雰囲気の中で、お互いの長所を活かし短所を補いながら、日々切磋琢磨している士気の高い職場です。

警察学校での生活

警察学校のイメージとして皆さんが思い浮かべるのは、「厳しい規則、恐ろしい教官、息の詰まるような集団生活…」といったところでしょうか。

私も入校前は不安を感じていました。実際に入校してみると、担任教官をはじめとしたサポート体制と、充実したカリキュラムのおかげで1ヶ月の入校もあっという間に卒業となりました。

そこで習得した知識や共同生活を通じて得た同期生との「絆」は、拜命して20年近く経った今も仕事の支えになっています。



休日の過ごし方

充実した休暇制度があり、土日祝日以外も計画的に休暇を取得することができるので思い切ったリフレッシュプランを実行することができます。

私は休暇を利用して家族とよくキャンプに行きます。定期的に心身のリフレッシュをすることで、常に質の高い仕事ができるように心掛けています。

メッセージ

情報処理選考では、企業で働いている方はもちろん、現在大学等で情報技術を学んでいる方も大歓迎です。

私は大学卒業後、企業でシステム開発の経験が無いまま福岡県警察に就職しました。しかし、採用後には研修もあり、不足する技術や経験は、周囲の方の指導や自ら学ぶことでクリアできます。

自分の可能性を試したい、自分の個性を活かしたい、たくさんのやりがいを感じたい方は、迷わず情報処理選考を選択してください。

